

「MUCH-1」を使用した場合のエンジン性能変化について

「MUCH-1」注入後のエンジンの性能は、次のように変化する。

注入後、車の個体差はあるが注入後、エンジンを始動してから、5分～30分位で音が静かになり、振動が低下する。又、時間の経過と共に、更に性能が向上変化し、超低音、超低振動化になり運転環境が著しく改善される。

又、本品注入後は、個体差はあるものの、必ず経時と共に変化し、素晴らしい走り、力強さを発揮し、総合的に、馬力・トルクがパワーアップし、安定した走行を生み出す事が出来るものである。

更に、燃費節減、排気ガスの超低減化へと機能し、環境負荷を少なくする事が出来、社会に貢献出来るものである。

(A)性能変化確認試験(圧縮圧比較)

馬力・トルクの変化は静置測定では、ダイナモシャシーで行なうのが、一番良好な結果が得られるが、簡易に測定する方法として、圧縮圧の変化を見る方法がある。次に測定方法を記述する。

(B)手順(測定器:コンプレッションテスター)

① 最初に注入前における測定を行う。

各シリンダーのプラグを全て外した後、第一シリンダーに、測定メーターを設置し、スターターで、エンジンを回転させ、各シリンダー毎に順に、圧縮圧を測定する。

*測定の際には、成るべく、コンプレッションメーターの取り付け器具はネジ式の構造のものが、圧縮漏れがなく、望ましい。

② 次に、通常状態に戻し、「MUCH-1」を注入し、エンジンをアイドルさせ最低1時間以上アイドル回転状態で維持する。

この状態でも、圧縮圧の変化は起きているが、確実に行う場合は、実走行で、100km～500km位が必要であり、走行後測定することが望ましい。実走行が不可能の場合は、静止状態でアイドルの状態から、回転数を上げ、1500～2000rpm位で5分位連続で回転維持し、更に、5サイクル～6サイクル以上繰り返し行う事をお勧めする。

これは「MUCH-1」が持つ摩擦係数の低減化の為に必要な回転摩擦力である。本品は、摩擦による金属相互間の瞬間圧接時に新組織が出来るためである。形成された組織は、基本的には不動のものであるが、金属同士が接触する度に一部が壊れ、又、新組織が形成される。よって、一部組織化された有機結合の新組織は完全に破壊される事が無く、常に維持され、防蝕力、熱伝導性を下げ、完全に摩擦抵抗を超低減化させる事が出来、前述の如く機能性能を超高度化へと導くものであり、環境問題、燃費改善と共に快適な運転環境を作り出すものである。

MUCH-1 燃費テスト結果報告書

* 使用車種: トヨタWISH(ウイッシュ)

原動機形式: 2ZR-FAE

排気量: 1800cc/4気筒

燃料: レギュラーガソリン車

開始走行距離: 20,763km

初年度登録: 平成29年7月

期間: H30年11月2日~11月6日

* 燃費結果:

カタログ燃費: 16.0km/L(JC08)

| | 距離メーター | | 走行距離 | 燃料 | 燃費 | 向上率 |
|---------------|----------|----------|-------|-------|----------|--------|
| | 開始時 | 満タン時 | | | | |
| 未添加 | 20,763km | 21,341km | 578km | 54.5L | 10.6km/L | |
| MUCH-1 注入後 | 21,341km | 22,101km | 760km | 55.1L | 13.8km/L | +30.2% |

特記事項

1. MUCH-1注入後、約30km走行後にエンジン音が静かになる。
2. 発進時の加速感及びアクセルのレスポンスが、非常に良くなる。
3. 高速での追い越しが、スムーズになる。
4. 登り坂道での加速感が、力強くなる。

* 省エネ例:

1) 5000km走行した場合

| | 燃費 | 必要燃料 | 燃料単価 | 燃料金額 | セーブ金額 |
|---------------|----------|--------|------|---------|----------|
| 未添加 | 10.6km/L | 471.7L | @150 | ¥70,755 | |
| MUCH-1 注入後 | 13.8km/L | 362.3L | @150 | ¥54,345 | -¥16,410 |

2) 満タンで、走行した場合

| | 燃費 | 満タン燃料 | 燃料単価 | 燃料金額 | 走行距離 | セーブ距離 |
|---------------|----------|-------|------|--------|-------|--------|
| 未添加 | 10.6km/L | 60.0L | @150 | ¥9,000 | 636km | |
| MUCH-1 注入後 | 13.8km/L | 60.0L | @150 | ¥9,000 | 828km | +192km |

MUCH-1 燃費テスト結果報告書

* 使用車種：カローラアクシオ(トヨタ)

原動機形式：1NR-FE

排気量：1300cc/4気筒

燃料：レギュラーガソリン車

開始走行距離：61,251km

初年度登録：平成27年8月

期間：H30年9月14日～9月18日

* 燃費結果：

カタログ燃費：20.6km/L(JC08)

| | 距離メーター | | 走行距離 | 燃料 | 燃費 | 向上率 |
|---------------|----------|----------|-------|-------|----------|--------|
| | 開始時 | 満タン時 | | | | |
| 未添加 | 61,251km | 61,723km | 472km | 38.7L | 12.2km/L | |
| MUCH-1 注入後 | 61,723km | 62,339km | 616km | 38.5L | 16.0km/L | +31.1% |

特記事項

1. MUCH-1注入後、約20km走行後にエンジン音が静かになる。
2. 発進時の加速感及びアクセルのレスポンスが、非常に良くなる。
3. 高速での追い越しが、スムーズになる。
4. 登り坂道での加速感が、力強くなる。

* 省エネ例：

1) 5000km走行した場合

| | 燃費 | 必要燃料 | 燃料単価 | 燃料金額 | セーブ金額 |
|---------------|----------|--------|------|---------|----------|
| 未添加 | 12.3km/L | 406.5L | @150 | ¥60,975 | |
| MUCH-1 注入後 | 16.0km/L | 312.5L | @150 | ¥46,875 | -¥14,100 |

2) 満タンで、走行した場合

| | 燃費 | 満タン燃料 | 燃料単価 | 燃料金額 | 走行距離 | セーブ距離 |
|---------------|----------|-------|------|--------|-------|--------|
| 未添加 | 12.3km/L | 40.0L | @150 | ¥6,000 | 492km | |
| MUCH-1 注入後 | 16.0km/L | 40.0L | @150 | ¥6,000 | 640km | +148km |

自動車機能向上剤「MUCH-1」注入後の特徴

<グレード 1> 静音性の向上(エンジン音)

* 注入する事により、ビックリする程、エンジン音が静かになる。

<グレード 2> 振動性の变化(エンジンの振動)

* 注入する事により、注入直後から、エンジンの振動が無くなるか少なくなる。

<グレード 3> 機能性の向上(馬力の大巾アップ、高性能化)

* エンジンのパワーが著しく上がり、見違える様に力強くなる。

<グレード 4> 機能性の向上(トルクの大巾アップ、高性能化)

* トルクが著しく上がり、見違える様に力強くなり、急坂も軽く走行出来る様になる。

<グレード 5> 運転性の向上

* アクセルのレスポンスが上がりスムーズになり、ストレスが無くなり走行性能が、向上する。

<グレード 6> 環境改善、排気ガスの超低減化+無公害化

* 排ガス規制対象のCO,HCが超低減化、若しくは、完全燃焼し、排ガスがゼロになる。

<グレード 7> 燃料燃費の大巾な改善に寄与

* 燃費は、車種により個体差があるが60%~5%位走行距離が伸び、超経済的である。

<グレード 8> 車両寿命の延長

* エンジンの性能が、著しく改善され、経時と共に伸びる事により、寿命が更に今以上に伸ばす事が出来る。

<グレード 9> 走行時間の短縮

* 目的地に到達する迄の時間が、総合的な性能アップにより、短縮出来る。

平成31年4月1日

アカデミーテクノ・サイエンス株式会社

〒224-0027神奈川県横浜市都筑区大圃町327番地

Tel:045-548-8391(代) Fax:045-548-8392

Tel:045-548-8851(直) Fax:045-548-8842

(C)圧縮圧の変化

注入前と注入後の圧縮圧は、個体差があるものの、必ず変化し、圧縮圧は上がるが、基本的には、各気筒間の圧縮圧が均一・均等化する事が望ましい。又、本品を注入後、走行経時する毎に、上記の改善がおき、殆どの車種が最終的には、均一・均等化する。

令和元年 6月 20日

アカデミーテクノ・サイエンス株式会社

本社工場/研究所: 〒224-0027神奈川県横浜市都筑区大圃町327番地
Tel:045-548-8391 Fax:045-548-8392